

蓑と笠の化げもの



表紙 裏町しはん

vol. **103** May 2024

contents 目次

- 04 YOKOGAO 拝見
- 04 野菜歳時記
- 06 中心街で Art を楽しもう
- 10 ランチ情報
- 13 食育エッセイ
- 14 ショッピング情報
- 15 プレゼント
- 16 ビューティー & ヘルシー情報
- 21 タウンウォッチ
- 24 初夏のグルメ情報
- 30 はちのへ TAKEOUT Gourmet
- 34 クーポン

ホームページ公開中

パソコン

<http://www.webwell.jp>

ケイタイ

<http://www.webwell.jp/mobile/>



昔々あったず。参勤交代の時
代の事だつたずもな。ある山の
ふもとの村に大きな沼があつた
ず。その沼の辺りの坂こを旅の
人が通れば必ず雨こが降つてき
たもんだず。

雨が急に降り出して旅人が
困っていると、決まつて坂この
木さ「着てけろ」つて云うよう
に蓑と笠がぶら下がつていだも
んだず。したすけ、旅の人が喜
んでこの蓑と笠を着ると、その
とたん、蓑と笠の縄が締まつて
首絞められ、体しめられで、ず
んずんと沼の中に引つ張られて
殺されてしまうのだず。

この蓑と笠の化げ物の話を聞
いた侍が、「俺、退治してやる」つ
て沼の近くの坂こに来たきや、
やつぱり雨こ降つてきたずもな。
そして辺りほどもを見まわした
きや、案の定、木に蓑と笠がぶ
らさがつていだつたず。「これが
化げ物の蓑と笠だ」と侍はわざ
と着たずもな。したきや、首と
体を締められで、沼の淵まで引つ
張られで行つたず。

そこで侍は持つていた刀で蓑
と笠の縄をぶつ切り切つたずも
のな。そして裸になつて沼に飛
び込んだず。したども沼の中に
は化げ物らしいものは何もない

がつたず。
したども、よくよく見たら沼
の底に木の根っこみたいなもの
があつたず。

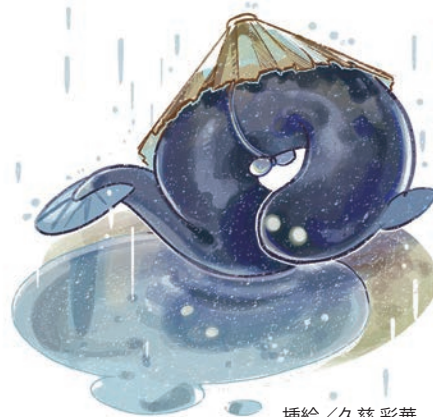
「これが化げ物だ」と思った侍
は刀でその木の根っこをぎぎぎ
ざと刺し、手で引きずつて沼か
ら上がつてきたず。

そして陸に上がつてその木の
根っこを日光に当てたら、なん
とみるみるうちに年とつた大き
だ大きだうなぎに変わつたず。

そこで侍は村の人を集めて皆
で化げ物のうなぎを火に掛けて
焼いてしまつたず。誰も食う人
はいながつたず。

まず、それからというものの旅
の人、村の人が沼の近くの坂こ
を通つても、雨こも急に降らな
くなつたし、蓑と笠の化げ物も
出なくなり安心して通るようにな
つたず。

どつとはれ



挿絵/久慈 彩華